

令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果(中学校)

越前市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	万葉	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体力テストの結果をもとに自己の課題に応じた体力向上のためのマイプログラムを作成。	自己の課題を把握し、体力を高めるために運動の種類を調べたり、強度を調整したりしてプログラムを作成することで、生活の中に意識的に運動を取り入れる意識を高めることができた。
2	武生第一	中学校	本校の体力向上の取組みについて	体育の授業において、補強運動を継続して取り入れた。	補強運動の目的を理解し、正しく行うことができる生徒が増えた。特に腕立て伏せについては正しい姿勢で10回しっかりできる生徒が4月に比べて増えた。
3	武生第二	中学校	本校の体力向上の取組みについて	昨年の自分を超越することを目標に生徒自身が昨年の体力テスト結果の考察と現状の把握を行う。	昨年度の結果と比較することで、目標数値を意識して取り組む生徒が増えた。体育委員会でも、持久力向上を目指したランニングの工夫について提案し、授業等で取り組んだ。結果、持久走の記録が向上した生徒が増えた。
4	武生第二(坂口分校)	中学校	本校の体力向上の取組みについて	体育の授業で、補強運動や調整力を高める運動をバランスよく取り入れて、自分たちで考えた準備運動を毎時間行った。	運動能力調査の50m走ではすべての項目で県平均を上回った。また、反復横跳びでは、5/6項目で上回った。
5	武生第三	中学校	その他	体育委員会が中心となってスポーツ大会を企画し、生徒が自らスポーツに取り組もうとする場を設定した(フリースロー大会など)。	多数の生徒が参加し、全校でスポーツの楽しさを味わうことができた。その後も、休み時間に体育館等で体を動かす生徒が増えた。
6	武生第六	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	長距離走への苦手意識を少なくし、進んで取り組もうとすることに重点を置いた。達成感を味わえるよう、記録の向上のみにとらわれず、毎時間の積み重ねで合計何キロ走ったかを記録した。	長距離走の授業において、どの生徒も最後まで意欲的に取り組めた。振り返りから自分のペースで長時間走ることが本来の長距離走の魅力だということに気づき、また取り組みたいと感じた生徒が増えた。

7	武生第五	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	タブレットや学習カードを活用したグループ学習	仲間と学び合うことにより、より運動の楽しさを実感していた。アンケートで90%以上の生徒が主体的に授業に取り組んでいると答えた。
8	南越	中学校	本校の体力向上の取組について	補強運動で敏捷性トレーニングや瞬発的な活動を実施した。	各学年反復横跳びの平均回数が昨年よりも約4回程伸びた。